

日本レコード大賞アジア音楽賞の 沢 知恵さん 昨年の感動を、ふたたび！

第三回 荒生田塾コンサート



10月22日(土) 午後2時より (1時半開場)

沢 知恵 ピアノ弾き語りコンサート 「かかわらなければ vol.2」

会場 / 東八幡キリスト教会 北九州市八幡東区荒生田 2-1-40

【おもな曲目】

アメイジング・グレイス

こころ

男はつらいよ

胸の泉に (かかわらなければ)

黒人霊歌

故郷 (ふるさと) 他

※当日変更の可能性あり

大人 2,000 円

小中学生 1,000 円

※申し訳ありませんが、未就学児の入場はご遠慮ください。

予約・問い合わせ

093-651-6669

※席に限りがあるので、お早めにご予約ください。

※座席指定はありません。当日の先着順になります。

※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。



さわ ともえ
沢 知恵

1971年生まれ。日本、韓国、アメリカで育ち、3歳からピアノを弾く。東京芸術大学楽理科在学中に歌手デビュー。〈谷川俊太郎をうたう〉など27枚のアルバムを発表。第40回日本レコード大賞アジア音楽賞受賞。「日本語をもっとも美しくうたう歌手」と評され、圧倒的迫力のパフォーマンスで、老若男女に支持されている。東京での季節公演をはじめ、ハンセン病療養所、災害被災地、少年院などでも活動。おもなテレビ出演「ハートネットTV」「徹子の部屋」「題名のない音楽会」など。日本キリスト教団 岡山教会員。

10月23日(日) 午前10時半より キリスト教講演会 (礼拝)

講師：奥田知志牧師 (当教会牧師)

※この日も沢さんが1曲歌ってくださいます！

キリスト教エッセイ「祈り」の時代へ
現在の日本は、特に雇用環境を中心に「不安定な社会となった」と言っている。そのような時代においては、問題解決をどう図るかも重要ですが、次の危機の時、誰に相談できるかがより重要になります。いざと言う時に「助けて」と言える相手がいるかが問われる時代です。なかなか問題は根本解決しませんが、誰かが一緒にいてくれることが救いなのです。
聖書には、イエスが再三奇跡を起こされたことが記録されています。イエス自身「求めよ、さらば与えられん」と仰っています。宗教において、病気が治るか、問題が解決するなど、苦難からの解放が救いだと思われがちです。これを「ご利益宗教」などと一蹴することはできません。
しかし、一方でキリスト教には、もう一つの別の救いのイメージが描かれており、今日においてはその意味は大きいと思われる。新約聖書マタイによる福音書のクリスマスの箇所には「この名はインマヌエルと呼ばれるであろう。これは『神われらと共にいます』という意味である」。これは救い主の誕生を告げる天使の言葉なのですが、ここでは「インマヌエル神我らと共にいます」が救いであると告げられています。救いとは「共にいてくださる存在」そのものであって、それは問題解決や、病気の治癒などの奇跡のようなことが起きる以前の事柄だと言えます。従来救いを「状態の変化」(例えば「問題有」から「問題無」)として捉えるのに対して、「インマヌエル神我らと共にいます」は、「状態そのもの」を指す言葉です。
今日のような悩み多き時代においては、確かに悩みが解消することを私たちは望みます。しかし、自分が抱えている問題が容易ならざるものであることを私たちは知っており、願いが簡単には叶わないことも知っています。問題が一つ解決しても、すぐに新しい問題が起ってくる。まさに人生山あり谷ありの連続で、常に問題山積の状態です。祈っても病気が癒されれないという現実、正直、信仰の意味を見失いそうにさえなります。
しかし、救いは私たちの思いが叶うということだけではなく、たとえ問題を抱えながらであっても生きていける。それが本当の信仰の力です。問題山積にも拘わらず私たちが、生きていける。それは神が共におられるからです。私は独りではないという確信が救いであり、今日における信仰です。
どうしても「請願成就(願いが叶うこと)」が気になります。しかし、それだけで祈りを捉えることはできません。祈りとは、共にいてくださる神との絆だからです。祈りが叶うかのみならず、祈りそのもの(神との絆)が救いでもあるのです。信仰や祈りをこのような関係の概念として捉えなおす必要があります。
さらに祈りは、神との絆を結ぶと共に、他者との絆へと広がります。宗教者は、他者のために祈ります。自分のことばかりで、他者のことを祈らない宗教者は偽物です。キリスト教では、これを「とりなしの祈り」と言います。「あの人の病気を癒してください」と神に祈るのです。病気が治らないかもしれません。あるいは、そのまま亡くなってしまふことさえあります。では、祈ることは無意味でしょうか。そうではありません。「共にいるよ」。これが祈りの意味だからです。
無縁と孤立、格差と分断が進む不安定社会において、祈りは私たちがもう一度誰かとつながろうとする意志であり、そのつながりに救いと希望を見出すこととつながります。逆に無縁社会とは祈りなき時代、つながりなき時代です。私は、祈りたいと思います。祈り続けたいと思います。まず、周りの大切な人々のために。そしてまだ見ぬ人々のために。この世界に生きるすべての人が平和であり続けるために。
確かに祈ることさえつらい日もあります。しかし、イエスは自分を裏切るペテロに対してこのように語られました。「しかし、わたしはあなたの信仰がなくなるらないように、あなたのために祈った。それで、あなたが立ち直ったときには、兄弟たちを力づけてやりなさい」(ルカによる福音書二二章三二節)。イエスは、「インマヌエル神我らと共にいます」です。聖書の神は、どんなことがあっても、私たちとつながり続けてくださる神です。今日も私が祈り続けることができますように、イエスご自身が祈り続けてくださっています。だから、あなたは独りぼつちではありません。

うまい！安い！ためになる！

教会バザー2016

11月23日
(水/休)

午前 10:30 開始

バザーの目的について

今年度のバザー収益金は、主に以下の目的のために用いられます。

- ① 東日本大震災被災者・福島原発被害者のために⇒共生地域創造財団へ
- ② アフガンでの医療活動のために ⇒ペシャワール会へ
- ③ アジアの農業研修生支援のために ⇒PHD協会へ
- ④ ホームレス自立支援のために ⇒NPO 法人 抱樸へ
- ⑤ 「障害」者施設のために ⇒久山療育園へ、太陽パンへ
- ⑥ 海外での医療活動のために ⇒キリスト教海外医療協力会へ
- ⑦ ルワンダの平和と和解のために ⇒佐々木さんを支援する会へ
- ⑧ 東八幡キリスト教会の活動のために (新教会堂建築費用)

今年もやります！

とれたて **新米！**

れんげ米

毎年大好評の新米を
今年もどうぞ！

11月1日より配達開始

5kg **2400円** (配達無料)

数に限りあり。お早めにお申し込みを。

電話/FAX 093-651-6669

品物提供のお願い

バザーは、毎年主旨に賛同くださる多くの方々のご厚意の品物によって支えられています。今年もよろしくお願ひします。

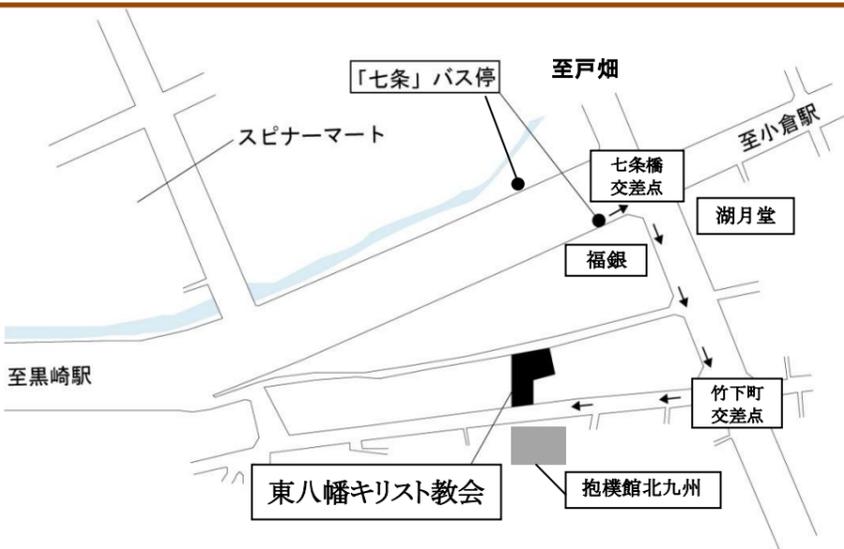
集めている品物

- ①新品食器類
- ②タオル、毛布、シーツ類、石鹸
- ③新品家電
- ④新品衣類
- ⑤趣味の品・鞆・靴
- ⑥古本・CD・DVD
- ⑦子ども用品・おもちゃ

その他なんでもOKです。

但し申し訳ありませんが、**新品もしくは、それに準ずるものに**限らせていただいております。(古本おもちゃは除く)。

ともかくお電話ください。頂きに伺います。どうぞ、よろしくお願ひします。(受付期間：10月25日～11月13日)



〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1番40

電話/FAX (093) 651-6669 ホームページ: [東八幡キリスト教会](http://www.higashiyahata.ch) 検索

Email: higashiyahata.ch.1955@nifty.com

牧師: 奥田 知志 石橋 誠一

協働牧師: 藤田 英彦 森松 長生 齊藤弘司



『軒の教会』(設計:手塚建築研究所 施工:東建設)は2015年度グッドデザイン賞や第28回福岡県美しいまちづくり建築賞などを受賞しました。

定例集会

- ・主日礼拝(一般の部) 毎週日曜午前10時30分より
- ・子ども礼拝(小学生以下の部) 毎週日曜日午前9時30分
- ・少年少女会(中学生会) 毎週日曜日礼拝後
- ・聖書の学びとお祈りの会
夜の部 毎週水曜日午後7時30分
昼の部 毎月第3水曜日午後1時

牧師へのご相談 随時受付中！

牧師へのご相談を受け付けています。お困りのこと、誰にも相談できないこと、何でもかまいません。一人で悩まずにご相談ください。ともかく一緒に悩みましょう！牧師には守秘義務がありますので安心して相談ください。

電話093-651-6669